

# 平成29年度 決算特別委員会委員長報告資料

平成29年10月5日

《一般会計》

区分	意見・要望
総務費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語版広報紙「アシヤニューズレター」については読者の声も拾い上げて紙面の充実を目指してほしい。 (福井美奈子委員)</li> <li>○ 公共サインはまちの景観を構成する重要な要素となるため、わかりやすく環境に調和したものを作成すべきである。 (福井美奈子委員)</li> <li>○ 市役所南館1階フロアの活用については、賃貸も視野に入れた検討を行い、市民に親しまれる市庁舎整備が進められることを要望する。(福井美奈子委員)</li> <li>○ シティプロモーションは、ロゴマークの積極活用や市長特別賞などの受賞者にも協力を要請し、より積極的な施策を要望する。(田原委員)</li> <li>○ 職員の長時間・過密労働の改善に必要な人員配置を求める。(平野委員)</li> <li>○ 臨時的任用職員や非常勤嘱託職員の処遇改善を求める。(平野委員)</li> <li>○ マイナンバー制度は制度自体に個人情報保護上の問題がある。(平野委員)</li> <li>○ 債権管理で債務者への対応には、個人情報保護など十分な配慮を行うよう求める。(平野委員)</li> <li>○ 総合教育会議は決定機関ではなく、市長と教育委員会の協議・調整機関であるとの位置づけを明確にされたい。 (平野委員)</li> <li>○ 平和首長会議(年次総会)への出席は評価できるところであり、一層の平和行政の充実を期待する。(平野委員)</li> <li>○ 入札契約制度では、最低制限価格の設定のあり方など競争性が確保されるよう不断の改革、改善を求める。(平野委員)</li> </ul>
消防費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化した市内公園防火水槽の改修工事は予定どおり順次進めてほしい。(福井美奈子委員)</li> <li>○ 地区防災計画に地域全体で取り組めるように、市の後押しをお願いします。(田原委員)</li> <li>○ 家具転倒防止のさらなる普及のため、器具の購入費用の助成を含め改善を要望する。(田原委員)</li> <li>○ 職員定数の目標達成へ一層の体制強化を求める。(平野委員)</li> </ul>

区 分	意 見・要 望
民 生 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活困窮者自立支援事業については、施行から3年を迎え国の見直しが行われるが、その動向に注視しながら共生社会の実現に向けて取り組んでほしい。（福井美奈子委員）</li> <li>○ ファミリーサポートセンターでの相互支援活動については、引き続き円滑な事業の運営を要望する。（福井美奈子委員）</li> <li>○ 家庭児童相談員の体制強化を要望する。（田原委員）</li> <li>○ 病児・病後児保育事業を拡充するときは、市の中南部への拡充を要望する。（田原委員）</li> <li>○ 手話のできる人材育成については、次期の地域福祉計画において、施策の具体的な計画を織り込むことを要望する。（田原委員）</li> <li>○ 平成31年3月の高齢者バス運賃助成の更新時には、市とバス事業者との間で費用負担についての協議を行うよう求める。（田原委員）</li> <li>○ 生活保護の中で、医療扶助にジェネリック医薬品のさらなる活用を求める。（田原委員）</li> <li>○ 福祉推進委員の定数充足に向けて、引き受けていただけるよう環境整備を求める。（平野委員）</li> <li>○ 平和施策で発行した「たゆまぬ平和への歩み」の一層の活用を求める。（平野委員）</li> <li>○ 社会福祉法人「夢工房」前経営陣による不正行為の是正が完結するまでしっかりと見届けるよう求める。（平野委員）</li> <li>○ 保育所適正化計画策定委員会の報告が当該の所管事務調査をしている議会に報告がなく、発表までに子育て会議での議論もなかったのは議会軽視であり、市民を排除している点で問題である。（平野委員）</li> <li>○ 臨時福祉給付金は国民の側からは受け取る権利があるが、時の政府によるバラマキ政策で地方自治体として職員も余計な労力と時間を費やしているにもかかわらず、効果の薄い施策である。（平野委員）</li> <li>○ こども医療費助成制度における無料化の拡充は、早期受診・早期治療で医療費抑制にもつながるものであり、受診を促す対応を求める。（平野委員）</li> <li>○ 高齢者バス運賃助成制度は、地域によって市民の受ける便益に格差があり、バス路線を増やすなどの対策を求める。（平野委員）</li> <li>○ 生活保護行政は、市民の日常の生の継続という政治・行政の存在意義にかかわる重要な分野であるとの認識であたられたい。その際、個人情報保護の上で「相談室」の確保など十分な配慮を求める。（平野委員）</li> </ul>
農 林 水 産 業 費 商 工 費	<p><b>【農林水産業費関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カラス対策については、鷹を活用した方法も含めて被害防止対策の研究を進めてほしい。（福井美奈子委員）</li> </ul> <hr/> <p><b>【商工費関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消費者教育推進計画に基づき、子供に向けた消費者教育のために購入した教材が有効に活用されるよう要望する。（福井美奈子委員）</li> <li>○ IT企業やデザイン関連の企業など、事業所の広さやロケーションに依存しない企業は芦屋市でも誘致できる。優遇する必要はないが、裾野を広げてほしい。（大原委員）</li> <li>○ 消費生活サポーター養成研修の土日開催を求める。（田原委員）</li> <li>○ 消費生活に関する情報提供について、障がい者にも積極的に取り組んでほしい。（田原委員）</li> <li>○ ふるさと寄附金は本市にとっても歳入減であるなど、税制度にゆがみをもたらしており、国に是正の発信を求める。（平野委員）</li> <li>○ さつき展や菊花展への助成は「観光」だけでなく「文化」の視点から行うことも検討すべきである。（平野委員）</li> </ul>

区 分	意 見・要 望
衛 生 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民マナー条例については、在住外国人への周知も必要ではないか。外国語版の案内の作成を要望する。 (福井美奈子委員)</li> <li>○ 今後、超高齢化社会を迎えるにあたり在宅医療の増加が見込まれる。家庭から出される個々の医療廃棄物については、ごみハンドブックやホームページを通じてわかりやすく案内されるよう要望する。(福井美奈子委員)</li> <li>○ 喫煙禁止区域内の違反者が昨年度よりも増えている。巡回指導の取り組みを強化してくれたこともあると思うが、市民マナーの後退も考えられる。禁止区域以外の歩きたばこも含め、市民への啓発を強化し、取り締まり件数を減らせるよう取り組んでほしい。(大原委員)</li> <li>○ 芦屋市霊園の申込資格の中で、優先順位についての見直しを求める。(田原委員)</li> <li>○ 大気汚染・環境測定において、測定局によっては測定項目から抜けている物質があり、対象物質を拡大するよう求める。(平野委員)</li> </ul>
土 木 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡易耐震診断推進事業については、引き続き事業の周知に努めることを要望する。(福井美奈子委員)</li> <li>○ 都市計画総務費の委託料にかかる不用額が約47%と多い。前年度も約44%が不用額となっていた。委託料はある程度読める費目だと思うので、予算計上の際にはなるべく予実乖離が無いように工夫してほしい。(大原委員)</li> <li>○ 都市計画総務費の負担金、補助及び交付金にかかる不用額が約78%と多い。前年度も約80%が不用額となっていた。補助金は実数が読めないところがあると思うが、過去のデータを参考としながら予算計上の際にはなるべく予実乖離が出ないように工夫してほしい。(大原委員)</li> <li>○ 公園内のトイレの清掃について、丁寧な対応を求める。(田原委員)</li> <li>○ 住宅使用料の納付について、代理納付ができる場合は、積極的な活用を求める。(田原委員)</li> <li>○ 公益灯はバス停付近等で効果的になるよう管理・整備を求める。(平野委員)</li> <li>○ 狭隘で安全上問題のある阪急芦屋川駅北の陸橋(歩道橋)を拡幅するよう求める。(平野委員)</li> <li>○ 屋外広告物条例はそもそも市民合意がない中で施行されているが故に、了解のない写真撮影などの対応を改め、より丁寧な対応を求める。(平野委員)</li> <li>○ 公園への時計設置へ十分な財政措置を求める。(平野委員)</li> </ul>

区 分	意 見・要 望
教 育 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語スピーチコンテストは、素晴らしい機会であるため市民にも広く周知すべきではないか。英語教育の充実を目指したさらなる取り組みに期待する。（福井美奈子委員）</li> <li>○ 奥池地区の児童生徒通学補助については、実施に向けた前向きな検討を要望する。（福井美奈子委員）</li> <li>○ 図書館の改修に合わせて、自動貸出機と図書消毒機の設置を要望する。（福井美奈子委員）</li> <li>○ 打出教育文化センターで保持するサーバは31台が物理サーバとのことだが、物理サーバは機器そのもののコストだけでなく、メンテナンスにも大きなコストが必要となる。更新時には仮想化し、保持する物理サーバの台数を減らす工夫をしてほしい。（大原委員）</li> <li>○ 時間外勤務について、ゼロ～10時間程度の学校が多い中で、岩園小学校、打出浜小学校及び山手中学校については恒常的に30～40時間ほどの時間外が発生している。学校ごとの業務量の差はほとんどないということなので、多少の差が出るのは理解するが、30～40時間の差は明らかに異常である。少なく計上されている学校の状況を参考にしつつ、是正してほしい。（大原委員）</li> <li>○ 文化ゾーン内での行事の連携を密に実施してほしい。行事の関連書籍を図書館で利用者に提供することで、文化への理解をさらに促す相乗効果が期待できる。ただでさえ山手からのアクセスが悪い立地であるため、3つの文化施設が隣接しているメリットを最大限に生かさなければ、ここに位置しているのはデメリットしかない。（大原委員）</li> <li>○ 他自治体で給食がおいしくないという報道が出ており、おいしさをPRしたい芦屋市としてはチャンスである一方、ハードルが上がるとクオリティを維持しないと逆効果になる。業者選定も含めて気をつけてほしい。（大原委員）</li> <li>○ 地区防災計画について、学校園も積極的な関与を要望する。（田原委員）</li> <li>○ 留守家庭児童会の年度末（3月31日）の開級について、実現に向けた協議を要望する。（田原委員）</li> <li>○ 市立幼稚園・保育所のあり方(統廃合計画)については、その中身とともに総合教育会議との関係でも問題を残した。教育委員会が独立した決定機関であるとの認識をもって対応されたい。（平野委員）</li> <li>○ 学校管理費の需用費等で十分な学校運営費が確保されるよう求める。（平野委員）</li> <li>○ 奥池地区の通学補助は全児童・生徒を対象にするよう求める。（平野委員）</li> <li>○ 留守家庭児童会のすぎのこ学級は定員50名と規模が大きいですが、2クラス分が施設整備されており、その有効活用でクラス分けするよう求める。（平野委員）</li> <li>○ 学校給食未実施の中学校では、準要保護世帯対象に昼食費補助を実施するよう求める。（平野委員）</li> </ul>

《特別・財産区会計》

区 分	意 見・要 望
三条・津知 財 産 区	○ 三条・津知財産区における自衛隊通信基地としての防衛省への用地貸与は、通信基地の危険性に加えて阪神間のシンボルとしての景観上の問題からもふさわしくない。用地貸し付けをやめるよう求める。（平野委員）
介 護 保 険 事 業	○ 滞納処分となるのは普通徴収の対象となる低所得者がほとんどであり、保険料の高さによって社会保障が市民生活を脅かすことのないような対応を求める。（平野委員）
国 民 健 康 保 険 事 業	○ 医療費の削減に向けた対策として先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えについては、医師会や薬剤師会に対して積極的な働きかけを要望する。（福井美奈子委員） ○ 特定健康診査の受診率が39.4%と低い。相対的に見ると低くないのかもしれないが、数字だけ見ると低くないとは言えない。市民の健康確保のためにも、少しでも受診率を上げられるよう取り組んでほしい。（大原委員） ○ 短期保険証さえ交付されていない滞納世帯があるが、保険料の高さゆえに滞納となっている世帯が、医療費負担の高さから必要な医療が受けられないことのないよう社会保障の施策として丁寧な対応を求める。（平野委員）
後期高齢者 医 療 事 業	○ 高齢者を別に囲い込むという他の先進各国には見られない差別的制度であり廃止すべきである。（平野委員）
下 水 道 事 業	○ 極めて低い落札率の事例(水質等分析事務委託)についての入札監視委員会での委員会事務局(契約検査課)としての対応は、権限のない「議会の意思の代弁」を行っており問題である。（平野委員） ○ 集中豪雨にも対応できるよう下水管・側溝等の日常的な点検管理を求める。（平野委員）
都 市 再 開 発 事 業	○ J R 芦屋駅南地区の再開発事業では、当該決算年度において合意形成でなお課題を残していることを踏まえ、より丁寧な対応を求める。（平野委員）